

Q まずはクイズに挑戦！

男女共同参画社会は と のいずれもが、社会のさまざまな活動に参画する機会を与えられ、夢や希望に向かって や を発揮できる社会です。男女共同参画が問題にしているのは、 の選択の可能性です。老若男女すべての人が生き生きと住みやすい社会、それぞれの個性と能力を発揮できる な社会。今の日本が抱える問題に対して、 社会の実現が一つの答えです。

答えは9ページにあります

男女共同参画へ一歩いっぽ。〔パ・ザ・パ〕

特集「男女共同参画」とは

それってなんのこと？

ほんとうは、とてもとても大切なことなのに、いざ「説明してください」と言われると、思わず口ごもってしまう人も……。そこで、いろいろな人に訊ねてみました。「あなたは、男女共同参画という言葉から、どんなことを連想しますか？」

★この特集は、307人(中学生86人を含む)の市民の方々のアンケートをもとに構成してあります。

(アンケート実施時期 2007年10～11月)



原点は家庭にあるはず

まず家庭の中で男女の平等が図られることが大切。昔は気にもしなかった男女共同参画が、こんなに叫ばれるようになったのは大きな進歩だと思う。セクハラや雇用問題などでも解決しなくてはいけないことはたくさんある。

(30代 女性)

A そうです。家庭こそ、男女共同参画実践の原点です。まずは、家庭から「いっしょに、こうしようよ。」と呼びかけたり、誘ったり。そういう努力をしたいものですね。

B ほんと。それぞれの家庭にあった男女共同参画の方法があるはず。たとえば、「うちはお父さんの方が料理上手」など、きっとその家庭ならではの自慢できる事もあるでしょう。そんな家庭を「いいねえ。〇〇さんっち!」と言える社会にしたいなあ。

C 以前、廣岡守穂先生(中央大学法学部教授)の講演のなかで、「いっしょに歩いている相手の夢がかなうように協力し、応援することが大切」と。そう

なれば素敵な夫婦になれる。むずかしいことではなく、お互いを思いやる気持ち、「ありがとう」と素直に言える関係って素敵ですよ。

B 夫婦は最小単位の家庭であり、家庭は社会の縮図ですよ。未来の子どもたちのためにも、小さい頃からまずは家庭で男女共同参画を実践すること。そうすることで、雇用問題、そのほかのことも、しだいに理解されるようになっていくんじゃないかな。

A まず、家庭ですね! わが家でも、最近家族で男女共同参画について話し合ったりしていますよ。

声を出さないと 社会は変わらない

男女共同参画は、市民の生活実態としては「まだまだ」という感があります。女性が強くなってきているような印象がマスメディアなどから発信されていますが、例えば、離婚し、子育てを一人でやる母子家庭などは、仕事の場さえ極端に少ないのですから、まだまだ男社会を支えるだけの存在と考えられていると思います。

(50代 女性)



F 消防士やバス運転士など男性がほとんどだった職場にも女性が見受けられるようにはなっただけれど、実際の生活面ではどう変わったんだろう？

D 欧米では社会システムとしてはかなり改善されてきているようだけど、家庭生活では、日本と同じように性別役割分業等問題が、まだまだあるみたい。永遠の闘いになるのかもしれないですね。

E 日本では、社会システムもまだまだ。女性にとっては、出産後の社会復帰ですら、とても難しい。これって実際そうだった人でないと実感できないかも。これから就職する若い世代には、就職先の会社のワーク・ライフ・バランスについても知っておく

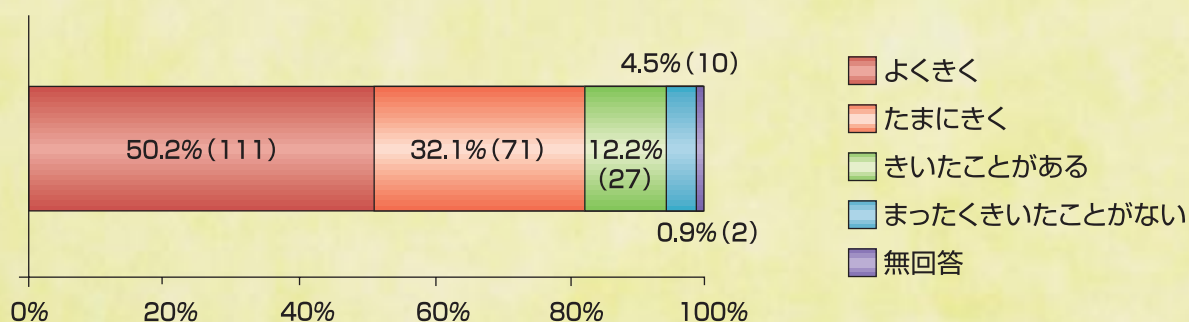
※11ページをご覧ください

ことが必要だね。会社の中に限らず、家庭や地域でも「助けて」や「お願い」と言える環境をつくっていききたいものですね。

G 10年前は、小さな子どもを持つ親は、預け先がなかなか見つからずに大変だった。今では、保育園の緊急保育を始めとして安心して預けられる先がたくさんできた。子育てに限らず、困っている人を助ける社会システムは、まだまだこれからですよ。言っても無駄だとあきらめず、声を上げることも大切だと思います。

H そう、声を出していかないと、世の中って変わらないと思います。

成人221人に聞きました。あなたは男女共同参画という言葉を



(H19.10~11 市民アンケートより)



男性の気づきと 学習の機会があるか？

女性には学ぶ時間があると思いますが、男性も学ぶ時間を持ってほしいと思います。

(50代 女性)

I 女性と比較すると、まだ男性の男女共同参画社会についての学習や理解は足りないと思う時があります。しかし、女性でも学ぶ意欲も時間もない人がいますね。残念ながら、男性で自主的に学ぶ人は、1000人に1人くらいかも。さあ、どうしたらいいか？

J 「学ぶ」というと、何かかきこまってしまう。いきなり、「男性のための男女共同参画講座」なんて講座に足が向くとは考えられないし…。女性も男性もそれぞれの生活の中で、どれくらい男女共同参画に触れ合う機会や気づきがあるか、が問題では？

K 男性の場合、勤務先での取組みで、初めてこの言葉に出会う人もいるのでは。最近は、積極的に取組みはじめた企業もあるようです。各企業の今後の取組みに期待したいですね。たとえば、社会教育

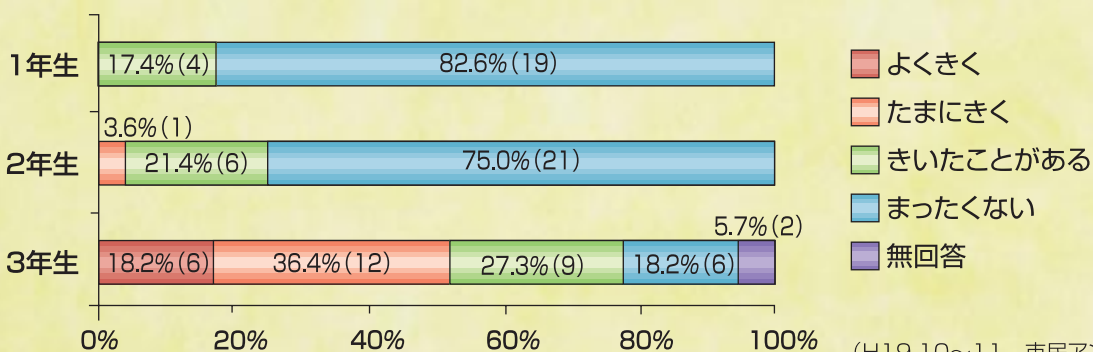
の一環として、行政の出前講座を積極的に利用するとか、いろいろ方法があると思いますが。

L 最近、若いパパ向けの育児雑誌をよく見かけます。パパが子どもに手遊びや絵本の読み聞かせをしてあげたりしています。若い世代は、ちょっとずつ意識が変化しているように感じます。

J それは、心強いですね。それぞれの年代別で悩みがあっても、ただそれが男女共同参画と関係していることに気づいていないこともあります。困った時とか、どうしようか迷ったときにすぐに相談できる場所や、気軽に学習することのできる場所があればいいですね。

K 「困ったときがチャンス」ってことでしょうか？ 行政、企業、学校などで学習の機会を設けていただけるといいですね。

中学生86人に聞きました。あなたは男女共同参画という言葉



(H19.10~11 市民アンケートより)

敵対せずに 意見交換を

男女共同参画なのに、いつも女性の
視点でしか物事を見ていない気がする。

(30代 女性)



M 表面的にはそう思えることもたくさんありますが、よ〜く考えてみると男性の視点からとらえることも多いですよ。でも、それぞれの視点に立つって、そう簡単なことではないと思います。

N 長年差別を受けてきた側からの指摘なので、無理はないと思うものの、敵対的な姿勢のままでは「いっしょに解決」はできなくなります。女性が男性の視点に立つのは、なかなか難しいので、男性がもっと発言していくべきだけど。脛に傷をもつオトコとして言わせてもらおうと…正直 難しい(笑)。

O 見て見ぬふりの男性が多いんですよ〜。女性の一方的な意見に異論があるなら言えばいいのに! 女性だって声あげるのは一部の人でしょ。すべての女性の視点ではないとも思います。

M 男女共同参画…理想ですけどね。まずは、女性を支援することが、決して女性のためだけの活

動ではないことを知ってほしい。女性の幸せは男性にとっても幸せなことなんですよね。

N そう。男性・女性をわざわざ分けるから、双方からの視点が合わないんですよ。男性と女性のさまざまな視点で意見が出せる場所が必要ですよ。

O 飾らない男性の生の声をきかせて欲しい!

M 女性にとっても男性にとっても幸せ? 例えばどんなことでしょうか?

N 「女性の権利とともに男性の権利だって守って欲しい!」って意見もありますし、お互いの立場や気持ちを理解し、共有しなければ「男女共同参画」になりません。

O まず、男性も女性も思いや考えを伝えることから始めましょう!

Q 男女共同参画・ジェンダーという言葉から連想する言葉は何ですか?

成人男女回答 トップ3

1位 平等・男女平等	63 (28.5%)
2位 自由	9 (4.0%)
3位 協力	8 (3.6%)

中学生 トップ3

1位 平等・男女平等	23 (26.7%)
2位 協力	5 (5.8%)
3位 仲良く	3 (3.5%)

第1位は成人男女、中学生とも「平等・男女平等」が30%弱を占めています。成人第2位の「自由」は性別役割分担意識から自由になるということでしょうか。中学生第3位の「仲良く」がかわいいですね。「協力」も成人第3位、中学生第2位と連想しやすい言葉だったようです。



地域では 浮いてしまう？

職場での理解は得られるが、地域での理解度は低い。これが問題だと思います。

(30代 女性)

P 地域で、男女共同参画について口にする人は、ほとんどいないと思います。なぜかといえば、「浮きまくる」からです。それだけ、問題の根が深いのでは？

Q 地域で浮きまくるのは辛いですね。う～ん…地域では無理でも、まずは家庭から。男女共同参画を実践している幸せな家庭が地域で有名になれば、少しは広まるかも。

R 地域で協力を仰ぐためには、まずは自治会・町内会・婦人会と協働してみてもどうでしょう。

P でも、そういった活動には、昔ながらの慣習があつたりしませんか？ 地域の中に男女共同参画の視点があれば、男だから、女だからと性別にとらわれることなく、もっと自由に楽しくいろんな活動に参加できそうな気がします。

Q 例えば「ジェンダー」という言葉を知らない人、聞いただけで「関係ない」と引いてしまう人も多いでしょう？ でも、その地域のお年寄りの持つ知恵を活かし、尊重しつつ、あきらめなないで、若い世代も何ができるかを考えていくことが大切でしょうね。

Q 男女共同参画・ジェンダーという言葉から連想する言葉は何ですか？(番外編)

男女共同参画・ジェンダーという言葉から連想する言葉として、興味深い意見をいくつかご紹介します。

成人男女

もちつもたれつ、コラボレーション、輝ける未来
変化、矛盾、格差、向上心、夫婦共働き

ワーク・ライフ・バランス、共生

ちょっとカタクルシイ

中学生

民族のおどり、ジェンガ、認め合い
差別がない、性

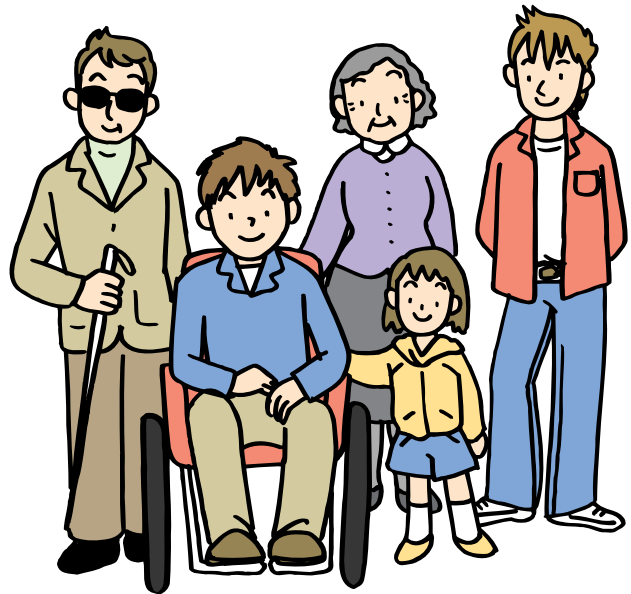
「男女共同参画」を全く知らない中学生にとっては、この言葉からいろいろなイメージが広がったようです。なかには、しっかりした自分の考えを答えている意見もありましたのでご紹介します。

- 男女の平等はとても大切だと思う。また、外国では性別だけでなく差別偏見があると聞いて、どうにかしなければならぬ問題だと思いました。(中2)
- 男子だから女子だからという考えはあまりよくないことだと思います(中2)
- 固定観念にとらわれない(中1)
- もっと身近に感じるようになってほしい(中3)
- まだ男女差別があります(中3)

性別だけでなく さまざまな差別のことも

男女間だけでなく、障害のある人などの平等ということから考えると男女共同参画がすこしわかりやすいものになりました。

(40代 男性)



S そうですね。これは、素晴らしい視点だと思います。男女差別にかぎらず、人の心にあるさまざまな差別・偏見の根は、ほとんど共通しています。ですから、男女差別だけを特別視するのではなく、ほかの差別についても、いっしょに考えていきたい。とくに障害のある女性などが、いわゆる二重の差別をうけているということなども、みんなで知っておきたいものです。

T わたしたちは、ともすると、男女の問題だけにとらわれがちですが、すべての人の人権を守る活動が、男女共同参画の活動ではないでしょうか。こ

れは、とても大切な視点だと思います。

U たしかに差別の芽は、ここにもあそこにも潜んでいます。差別のない社会をつくるためには、より広い視野が不可欠だと思います。

V まずは、自分の身のまわりにある差別、身近なところで起こっている現実から、考えてみてはどうでしょうか。子どものころからそのことに気づくためには、教育の場でしっかり取り上げていきたいと思います。

性別による差別に関する相談ごとはありませんか？

静岡市では、性別による差別の相談に対し、他機関と連携した対応のほか、必要に応じて弁護士などで構成した男女共同参画専門相談委員会からの意見に基づき、関係者に要請や助言を行います。

Q どんなことが相談できますか

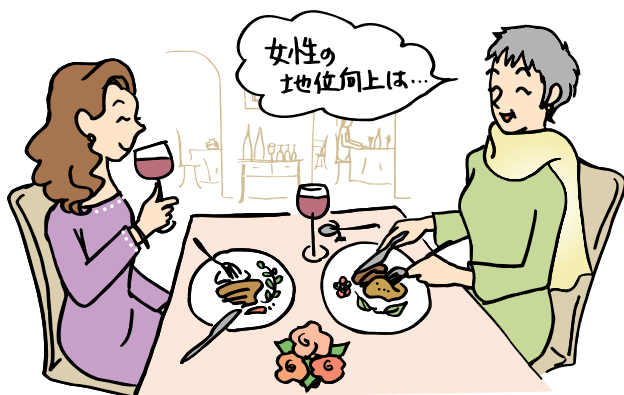
- 「女だからだめ」「男だからだめ」と機会を与えられなかった
- 会社や学校などでセクシュアル・ハラスメントを受けている

などの性別に係る人権侵害についての相談を受け付けています。ただし、市内で1年以内に発生した事案が対象になります。

Q 利用するにはどうしたらいいですか

- 市内にお住まいか、通勤・通学している方が申し出することができます。まずはお気軽にご相談ください。(判決、裁決等により確定した事項、裁判所において係争中の事項ほか一部の申出につきましては対応できません。)

男女共同参画課 (Tel 221-1349)



自己満足に 陥らないように

率直に言うと、男女共同参画とかジェンダーというものは、「生活に困らない人の教養主義」みたいに思えてしかたないのですが。

(70代 男性)

Y うっ…。キビシイ言葉ですね。

Z 確かに。でも、なんかわかるなあ…。知識を学ぶというだけで満足している人も多いかも。ほんとうに困って、救いを求めている人は、こういう活動自体知らないし、参加する意思も機会もないのが現実…。ゆとりがないと、こういう活動はできないというのも事実でしょうし。

W 「自己満足に陥っている人が少なくない」という批判は、あちこちで耳にするけど、それにしてもキツイご指摘ですね。

X 生活がどうのというよりも、心にゆとりのある人が活動しているんじゃないかな。それに教養にしては、ドロドロしたところも結構あるし。困っていることがあるからこそ、手を挙げる人、声を挙げる人、

活動する人もいると思うなあ。

Y え、ドロドロって何、何？

X たとえば人間関係とか、プライドみたいなものとか。

W 人権にかかわることなんだから教養というよりも、人間として必須の常識というか基本的知識じゃないのかな。義務教育のなかで、学ぶ機会を提供することで、次の世代の意識が変わっていくことを期待したいですね。

Z でも、そういう批判があるということを謙虚に受け止めていかないと、ほんとうに市民のなかに広く根づいていかないと思います。気をつけたいですね。

参加してみませんか？

女性会館(アイセル21Tel248-7330)では、**男女共同参画を推進するための講座**を実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。<http://www.aicel21.jp/>

また男女共同参画課では、職場における男女共同参画の推進を目的として、**企業出前講座**も実施しています。メニューは下記のとおりです。またこのメニュー以外でも、職場における男女共同参画を推進するものであれば実施可能ですので、ぜひお問い合わせください。

- ☆男女共同参画を本当に理解するために
- ☆セクシャル・ハラスメント防止講座
- ☆ワーク・ライフ・バランスを考える

男女共同参画課(Tel221-1349)
<http://www.city.shizuoka.jp/>

5つのCを

男女共同参画という言葉から連想することは人それぞれ、さまざまであることがよくわかりました。推進するためのヒントも生まれてきました。共通していえることは、まずは、家庭での会話(**Conversation**)、地域社会とつながる(**Community**)、気持ちを伝える(**Communication**)、相互理解(**Comprehension**)、協働(**Collaboration**)の5つのCからといえるのではないのでしょうか。まずは、あなたの隣にいる人と話してみませんか。

表紙ページクイズの答え

男女共同参画社会は、**男性**と**女性**のいずれもが、社会のさまざまな活動に参画する機会を与えられ、夢や希望に向かって**個性**や**能力**を発揮できる社会です。

男女共同参画が問題にしているのは、**人生**の選択の可能性です。老若男女すべての人が生き生きと住みやすい社会、それぞれの個性と能力を発揮できる**フェア**な社会。今の日本が抱える問題に対して**男女共同参画**社会の実現が一つの答えです。



男女共同参画は、家庭・地域・職場その他社会のあらゆる分野ですすめていきたい課題です。最後に東京大学社会科学研究所教授 玄田有史氏からのメッセージをご紹介します。

男女共同参画という「男らしさや女らしさを否定する悪しき企て」といった否定的な意見が登場する。さらに否定的な意見として「女性も男性なりに働けということでしょう。私には無理です」といった声を女性から聞くこともある。

だが、男女共同参画に関する報告書や資料を読むと、男(女)らしさといった性別の固有性を否定する文言に出くわすことは、実のところ、まったくない。長時間労働する男性と同様にすべての女性が働くことを強制する主張など存在しない。

共同参画にしても、近年注目の集まるポジティブ・アクション(積極的是正措置)にしても、性別による違いを否定するものではない。

それらは、性別を超えて個々人の意欲や能力を最大限発揮できる環境づくりを目指す。ポジティブ・アクションを進める企業で、女性ということだけで特別優遇するとか、逆に男女の違いを過度に排除するといった取り組みは見られない。

ある経営者は言う。「ウチは男女共同参画なんか、考えたこともない。ただ、男らしさ、女らしさもあるけれど、一人ひとり違うんだから、それはもっと大切に。それが社員のやる気につながって、結局会社の利益になる」。これが男女共同参画を実践する企業の姿である。そんな企業は着実に増えている。

別の経営者は「成果は3年から5年後」と指摘する。今後、人手不足、特に个性的で能力のある人材の欠如を深刻化する声は強まる。そのとき慌てても後の祭りである。

「男女共同参画の広報のために」(男女共同参画の広報啓発に関する研究会発行)より

チャレンジ レポート

男女共同参画ヤングリーダー会議に
静岡市代表として出席した

山田 友美さん

全国各地から地域リーダーとして活躍が期待される男女が集まる「男女共同参画ヤングリーダー会議」。今年度は平成19年11月19日～20日の2日間開催されました。静岡市代表として参加された山田友美さんからのレポートです。



写真2列目中央が山田さん

地域は違うが悩みは同じ

木枯らし1号が吹いた11月、ヤングリーダー会議に子どもと一緒にやってきた。代々木公園にある国立オリンピック記念青少年総合センターに、近い将来地域のリーダーとして活躍が期待される72名が集まった。リーダーたちは、それぞれ地域は異なるが、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの問題を、その問題に気づいていない人たちにどう伝えていけばいいのかわからないという共通の悩みをもっていた。

関心のない若い世代に

班別討議では、「広報・啓発活動」を選んだ。「関心のない若い世代につなげるためにどうしたらいいか」にテーマを絞り重点的に討議した。先進事例として、宮城県では行政主催の講座をきっかけに、主婦が自主グループを立ち上げ子育て情報マップを作成し、現在はNPO法人化され活動が継続、また沖縄県では夫婦ゲンカのシミュレーション講座が効果を発揮したと発表があった。「男女共同参画」という言葉は分かりにくいし、伝えにくい。関心のない若い世代が聞いても引いてしまう。もっと、やさしく、明るく、ステキに言い換えて伝えていく必要がある。たとえば「お互い様」「互いに思いやる気持ち」「ハッピーバランス」などをキーワードに、

具体的なイメージを写真やイラストを使って表現する方法を提案した。また、届けたい人に届けるために、印刷物、TVCM、インターネット、ブログ、携帯メール、メールマガジン、QRコードなどの媒体を、ターゲットやタイミングを考え、ミックスして活用する必要があると提案した。そして忘れてはならない広報手段「口コミ」をフルに活用し、私たちがヤングリーダー会議で得たことをリーダーが地域で100人に口コミで広げようと誓った。



ワーク・ライフ・バランス

男女共同参画ヤングリーダー会議参加 関西恭子さん
(岐阜県) 作品

おはなし会からメッセージ

「男女共同参画」という言葉を知らない若い世代は、まだまだ多いと思う。2年前の私がそうであったように。今後は、子育て世代を中心に若い世代へ向けて、これらは「今、自分自身に起きている問題なんだ」ということを積極的に伝え、気づきを与えるチャンスをつくりたいと思う。まずは、いま携わっているおはなし会の現場から、口コミ、情報ツールを活用してメッセージを伝えていきたいと思う。

しずおかおはなし会ネットおはなしききたい
代表 山田友美

仕事と生活の調和憲章 (ワーク・ライフ・バランス)



仕事・地域活動・健康休養・自己啓発・家庭生活の5要素は個人の活動としていずれも大切なものです。ワーク・ライフ・バランスとは、これら5つの要素に各人の時間と労力をうまく配分し、満足の高い暮らしを実現することです。これまではこうした配分は個人や個々の企業の取組みに依存していましたが、ワーク・ライフ・バランス推進官民トップ会議を経て昨年12月18日「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定されました。

この憲章では、目指すべき社会の姿として、

- ① 就労による経済的自立が可能な社会
- ② 健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
- ③ 多様な働き方・生き方が選択できる社会

としています。

関係者の果たすべき役割として、企業と働く者、国民、国、地方公共団体のそれぞれに役割を定めています。国民の取り組みとしては、

- 国民一人ひとりが、個々人の多様性を理解し、互いに尊重し合う。
- 自らの仕事と生活の調和の在り方について考え、周囲の理解を得ながらその実現を目指す。
- 家庭や地域の中での自らの役割を認識し、積極的な役割を果たす。
- 消費者の一人として、サービスを提供する労働者の働き方に配慮する。

が求められています。

あるべき社会のグランドデザインとなった憲章と行動指針。「仕事と子育ての両立支援」から「仕事と生活の調和」へ。新たな男女共同参画社会の実現に向けて企業や市民の皆様の一層の理解と協力をお願いします。

男女共同参画推進企業訪問 **しずおか信用金庫グループ**

男女共同参画を推進する企業やワーク・ライフ・バランス実現に向けて取り組む企業をご紹介します。



昨年、静岡県が推進する「男女共同参画社会づくり宣言」をされたしずおか信用金庫グループ。宣言では就学前の子供を育てる職員の雇用環境の整備、女性がより能力を発揮できる職場づくりや管理職への登用などを積極的に推進していくとしています。

「Pas ā pas」は、しずおか信用金庫静岡市内全営業店ロビーでご覧いただけます。

Book review

図書館の司書が男女共同参画の視点で特集記事に関連した本をオススメします。



「地図でみる世界の女性」 ジョニー・シーガー 著 原民子/木村くに子訳 (明石書店)



世界の女性たちが置かれている現状を、ジェンダーの視点から40のテーマに分け、各国のデータを世界地図上に色分けして表したジェンダー統計の本です。フェミニストであり地理学の専門家である著者があみだした独自のパターンは、解説と統計地図が一体となって世界の女性を取り巻く厳しい現実を浮かび上がらせます。「ドメスティック・バイオレンス」の地図では、データを公表したすべての国において男性による女性への暴力が日常化していることを示しています。暴力は殺人へとエスカレートする危険も大きく、「殺人—女性が被害者となるケース」では、持参金をめぐる花嫁の焼殺のように「名誉殺人」として認知している国が多く見られます。「世界の多数の女性が、かつての奴隷とほとんど変わらない日々を送っている」ことは、地図がはっきり証明しています。グローバルな視点で女性が置かれている現実を直視することが大切だとわかりました。(松永博子)

男性の「生き方」再考 メンズリブからの提唱 中村彰 (世界思想社)



男女共同参画というと、女性の社会参加やエンパワメントが先決といわれるが、男性優位社会に生きる男性たちも生きにくさを感じているようだ。「男は仕事」「一家の大黒柱」といった性役割分担や、「弱音をはかない」「我慢」といった「男らしさ」に縛られるあまり、鬱や過労死、自殺にいたる男性も増えている。孤立する男性介護者の問題然りである。著者等はこのようなジェンダーバイアスによる男性の生きにくさにいち早く気付き、「男らしく」より「自分らしく」ありたいとメンズセンターを発足させた。この本では著者自身の気付きや、男性の側から男女共同参画社会の実現に向けて取り組むメンズセンターの活動、男性更年期やDVの問題等を取り上げている。ジェンダーの問題は個人の努力だけでは解決しない。両性がプライベートや社会の中で抱える問題に気付き、声をあげることが国や社会を変革することにつながると信じている。(遠藤純子)

「ジェンダーフリーの絵本」 橋本紀子 文 高橋由為子 絵 「生きるってすてき」 (株式会社大月書店)



「ジェンダーフリーの絵本」全6巻の②で、「みさき町」という町を舞台に、小学生の「りょう」やその友達の家族の暮らしが描かれています。登場する5家族は、家族の形や働き方がそれぞれ異なりますが、みんなが心地よく生きるために、家族全員が各々の力に応じて家事、育児、介護などを分担したり、地域社会のために役立つことをしている点は共通しています。読み進めるうちに、子どもにも大人にも、「さまざまな家族や暮らしがあっていいのだ」「人はいろいろな世代の人と関わりながら助け合って暮らしている」という著者のメッセージが自然に伝わってきます。気楽に読んで、私たちの心のどこかにあるかもしれない男女の役割分担意識や古い慣習を見つめ直すきっかけにもなり、「生きるってすてき」と思える町をつくるために何ができるかなと自然に考えるようになります。(山本千秋)

3冊とも女性会館図書コーナーにて所蔵しています。